

「新成人の皆様へ」

庄原地区自治協会会長 高橋 義孝

本年、晴れて成人式を迎えられました皆さん、ご成人おめでとうございます。

人生の節目となる大切な年を迎えるにあたり、次代を担う皆さんが、心身ともに健やかに成長し、立派な成人となられましたことを、心からお祝い申し上げます。

そして、今日まで新成人の皆さんを深い愛情を持って育ててこられましたご家族の皆様、本当におめでとうございます。これまでのご苦労に心より敬意を表し、お喜びを申し上げます。たくさんの思い出と共にこの二十年を思い返すと、きつと長かったようでもあり、あっという間だったようでもあり、今日大人への道を歩き始めたわが子の立派に晴れ着を着た背中を眺めると、嬉しいような、切ないような、万感の思いが胸にこみ上げていることと思います。

これからは、いよいよ責任ある大人の行動の指針として、皆さんも聞いたことがあると思いますが、「人間万事塞翁が馬」という言葉があります。これは、人間の吉凶や、幸・不幸は常に変転しているもので、生きていく中で出会うどんな良いできごと、悪いできごと、考え方次第で良くも悪くもなる。だからこそ、良い時に喜ぶだけで、悪いことへの備えを怠ったり、逆に、悪い時に落ち込むだけで逆転のチャンスを見失うようなことをしてはいけないという教訓です。

今、出雲市に暮らしている方も、町外・県外に出ている方も、どうかこれからしっかりと目標を持ち、努力し、良いことも、悪いことも、様々な経験を重ねてください。

私たちの住む庄原の地域は、湯の川温泉、荒神谷遺跡、いりすの丘、大国山、高瀬城などたくさんの地域資源に加え出雲縁結び空港や高速道路インターも近く、たくさんのポテンシャルを有しております。口頃から庄原コミセンを拠点にたくさんの方々が集い、色々な活動に参加され、最近は地域活性化にと「ひかわキレイマルシェ」「怪トラ市」「夏祭り花火の夕べ」など多彩なイベントも開催されています。若い皆さんも機会を見つけて是非参加してください。

おわりに、これから、どうぞ力いっぱい大海へ漕ぎ出す気持ちで大いに挑戦してください。

そして一回りも二回りも成長し、いつかふるさとを背負う大きな力となりますよう、期待しております。皆さんの前途に幸多からんことを祈念し、併せて地域の皆さまにとって本年が良い年となりますようお祈り申し上げます。



新成人を祝う会

今年度初めての試みとして新成人を祝う会をしました。成人になる人達も交えて実行委員会を立ち上げ、手探りの状態で始めました。地域の想いと若い人たちとの話し合いは、会を重ねるほど親交が深まり、素晴らしい祝う会ができる手応えを感じました。当日は小、中学校の担任の先生と校長先生を交え、たくさんの新成人が集まり、若さ溢れた、温かで賑やかな会となりました。地域はみんなの応援団として若い人たちをサポートしていきたいと考えています。地域の皆様もぜひ見守っていただきたいと思います。

新成人の感想

- ◆たくさんの方に祝いして頂いて斐川町の方々の愛情に触れることができ温かさを感じました。ありがとうございました。 高橋周子
- ◆友人や恩師、地域の方々など多くの人の温かさに触れ、斐川町への愛憎が一層深まりました。 青木大智
- ◆懐かしい友人やかつての恩師との再会により忘れかけていた大切な思い出が蘇り、始終感動が止まらない素晴らしい会でした。 古川裕太
- ◆私たちのためにこんな素晴らしい会を開いてくださり、ありがとうございました。友達や過去の写真を見て振り返り、懐かしく思いました。なかなか集まらない中、地域のみなさんのおかげで集まることができ、とてもいい思い出となりました。ありがとうございました。 渡邊莉子



新年の ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、旧年中コミセンの事業の推進に格別のご支援とご協力をいただきましたことに、心よりお礼申し上げます。

コミセンでは昨年まで隣にありました「ショッピングセンター・アイ」の建物が撤去され、今までとは少し雰囲気違った新年を迎えました。また一人多い5人の職員体制となって事業等がスムーズに行えるようになり、新たなコミセンとして再出発できました。本年も地域の皆様の「憩いの場、交流の場、学習の場」として、利用しやすい親しみのあるコミセンでありたいと思っています。職員一同心を新たに職務に邁進する覚悟でございますので、今までに益してご支援ご協力を宜しくお願い致します。

皆様のご健勝とご多幸を念じ、新年のごあいさつといたします。

庄原コミュニティセンター センター長 福島 勲
 チーフマネジャー 岡 初枝
 マネジャー 郷原美山紀
 小松原由子
 池淵 陵子



11/26
(日)

第3回やくも教育講演会

主催／庄原コミュニティセンター・出東コミュニティセンター

共催／斐川東中学校・庄原小学校・出東小学校・庄原地区青少年育成協議会

出東地区青少年健全育成協議会・斐川東中学校校区地域学校運営ブロック協議会

斐川東中学校 PTA・庄原小学校 PTA・出東小学校 PTA

会場／斐川東中学校体育館



錦織良成監督の講演を聴いて

庄原コミュニティセンター センター長 福島 勲

11月26日に「第3回やくも教育講演会」が今年は「公民館ふるさと教育推進事業」の一環として開催されました。「公民館ふるさと教育推進事業」とは地域住民がふるさと教育を通じてふるさとに愛着と誇りを持ち、次世代に伝え、守っていこうとする人材を育成することを目的としています。そこでふるさとへの思いが溢れる映画を制作される錦織良成監督をお招きし、映画を通してのふるさとについて講演して頂きました。

最初の映画作成の費用調達苦労など裏話も興味深いお話でしたが、特に考えさせられたのは、「白い船」を作ったころの都会の教育のあり方が17年経った現在この島根も同じ教育のあり方となっていることでした。それは押しつけの教育で宿題を多く出すことで勉強の機会を増やすことを望む親の為の教育です。だが現在の都会は自然と接することを良しとし、自発的な勉強意欲を持たせる教育となっているとのことでした。せっかく自然がたくさんあるこの島根でもったいないと話されました。

われわれも今一度ふるさとの良さを見直す必要があるように思います。そしてこどもたちが誇りに思える島根、出雲、斐川としたいものです。



12/3
(日)

ふれあい交流部

しめ縄づくり (荘原小学校体育館)

自主企画事業

主催 荘原地区社会福祉協議会
共催 荘原コミュニティセンターふれあい交流部
荘原小学校 PTA 生活部

12月3日(日)しめ縄づくりをしました。総勢150名近い子どもたちとそのお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、地域の達人等たくさんの参加がありました。今年も悪戦苦闘しながら藁をより、だんだんしめ縄の形ができると、子どもたちは大喜びでした。大人も今は藁を扱う機会がほとんどなく大変ではありましたが、またくる年も良い年でありますようにと祈りながら一生懸命作りました。



こうして、みんなで一緒に作る事で地域のつながりや文化の伝承を同時に体験できました。



荘原地区社会福祉協議会様の手作りおにぎりや豚汁がとてもおいしかったです。

11/29
(水)

荘原こどもエコクラブ

餅つき 荘原小学校2年生 自主企画事業



小学校体育館で待ちに待ったもちつきをしました。あいも米のもち米でついた餅は味も歯ごたえも違っていました。真っ白になりながら丸めたお餅

はみんなの家でそれぞれに食べられたと思います。この日はつくたてのおもちをきな粉と砂糖醤油をつけていただきました。4月田植え、7月案山子づくり、9月の稲刈りの農業体験は貴重な体験でした。斐川の恵みを体全体で感じ美味しい米の味を忘れない事でしょう。



11/15
(水)

こども倶楽部

食育講演会

自主企画事業



昨年に引き続き「いも博士」でおなじみの福田豊さんに講演していただきました。

ゼオライト式焼き芋装置「おもいやりくん」を開発したきっかけに始まり、福田さん自作の「サツマイモ讃歌」の熱唱、ステージ狭しと踊る(！)福田さんの姿に釘付けになりました。講演を通して、食生活の大切さ、運動の大切さ、社会参加の大切さを教えていただきました。講演会の途中で足上げ体操を全員で行う、聴くだけでなく「実践する」講演会となりました。試食の焼き芋やサツマイモを使った料理も「美味しい」と大変好評でした。



11/8
(水)

ふるさと探訪 神庭編

自主企画事業

「荘原ふるさとマップ」を参考に荘原を歩いてふるさとの良さを発見する「ふるさと探訪」。今回は神庭を探索しました。天候に恵まれたこの日、参加者の皆さんと三宝荒神、神代神社、錦織竹香の生家・墓所、竹香揮毫の二宮金次郎像(荘原小学校)、神庭岩船山古墳、諏訪神社(神庭宮)、小丸子山古墳、荒神谷博物館をめぐり、最後に荒神谷史跡公園管理棟で竹香の書や絵を鑑賞しました。現地に赴き本物を目にしながら講師の方の説明で、それぞれの謂れや歴史にふれ、今まで何気なく見たり知らずに通り過ぎたりしていたものから、当時の人々の生きる力強さや叡智を知り、誇りに思いました。



三宝荒神

神代神社

神庭
岩船山古墳



11/12 出雲市青少年育成者等 功労表彰

建部佳代子 様

出雲市青少年市民会議の“青少年・青少年育成者等功労者表彰”の表彰を、永年、小学生のお花の講師をされている建部佳代子さんが受賞されました。

お花にお茶のお作法やあいさつ等ふるまい向上をめざしてやさしく接していただいています。文化祭や教室の日等にコミセン内のあちらこちらにお花が活けてあり、館内が明るくなっています。



11/17 シクラメンウォーク

荘原地区健康づくりの会



「斐川シクラメンまつり」にあわせて「シクラメンウォーク」を開催し、21名の参加がありました。お天気に恵まれたなか荘原コミセンを出発し、晩秋の斐川の景色を楽しみながら“いりすの丘”をめざして歩きました。

シクラメンまつりの会場では、色とりどりのシクラメンを見て和みました。

健康づくりのためにウォーキングを行う人が増えています。次回はあなたの参加をお待ちしています。



11/22 島根県各種功労者表彰受賞

轟 優子 様



主要経歴

少年補導員
地域安全推進委員

功績の概要

多年青年の健全育成と地域の安全推進に努め、地域住民の防犯意識の高揚に寄与した。

11/22 「おいでませの会」 ボランティア研修

「おいでませの会」のボランティア研修会を行いました。出雲消防本部斐川消防署から来ていただき、心肺蘇生法AED講習を受講しました。寒くなり救急車の出動が増えているそうです。目の前で倒れている人が心肺停止の可能性のある場合には一刻も早い救命処置が必要です。どれだけ早く心肺蘇生法を実施できるかで生存率を上げることができるそうです。緊急事態に少しでも冷静に行動できるようにするためにも日ごろから講習を受けておくことが大切だと改めて思いました。



11/27
(月)

荘原小学校4年生 廃油石鹸づくり



4年生の児童は新建川の水質調べをしています。川の水をきれいにするにはどうしたらいいか？とみんなで話し合いをしました。家庭の排水を汚さないために廃油石鹸をみんなで作って、学校中に配布すればたくさんの人に広がり川もきれいになる!!と意見がまとまりました。そこで廃油石鹸作りをしている「やまももの会」に作り方を教えてくださいとお願いがありました。「やまももの会」の環境福祉部を中心に9名がお手伝いに行きました。

この活動が地域に広がり、子ども達の思いが叶うといいなと思います。



12/6
(水)

やまももの会役員研修

研修先：出雲村田製作所(案内：金田忠士氏・和田守嘉久氏・佐藤友紀氏)

昼食：四季荘

参加者：20名



にこやかな三人の方の笑顔に迎えられ、玄関に入りました。さすが、大手の会社、敷地内に入った時から迷子になりそうでした。

出雲村田製作所は世界最大のセラミック・コンデンサーの開発・生産拠点で、生産が追いつかないほどだそうです。我が斐川町にこんな大きな会社があり、雇用の場があることは意義のあることです。同時に荘原の町の活性化に繋げていくことを私達住民が考えなければいけないと強く思いました。



◀ムラタセイサク君



◀コンデンサー

12/2
(土)

荘原放課後こどもクッキング(1年~6年の33名)

毎月1回のクッキングに12月はレストラン・ナチュラルの坂本昭彦シェフに包丁の使い方から教えていただきました。プロの野菜のみじん切りの早業にみんなの目が釘付けでした。

この中からシェフが生まれるかもしれませんね!!



★メニュー★

・クレープ

・スパゲティ・ミートソース

12/15
(金)

第2回 莊原・出東歴史講座

「維新十傑・前原一誠ゆかりの地と
斐川町の勝部本右衛門が守った国宝松江城を訪ねて」



大東町佐世城址

松江歴史館専門官の穴道正年先生に案内をしていただきました。前原一誠の母方の出身地の大東町佐世、佐世城址と佐世交流会館から松江工業高校へと前原一誠の足跡を訪ねました。そして松江城の国宝の決め手、「柱」の秘密を詳しく説明していただきました。実際に見ながらの説明でよくわかり、昔の人はすごい!!と感心しました。

晴天にも恵まれ、タイムスリップした一日でした。

第2回 莊原・出東歴史講座に参加して

富田 國夫

昨年12月15日 莊原・出東コミセン主催の歴史講座に参加し、「前原一誠」の研究で知られる松江歴史館専門員の穴道正年先生の案内と説明をいただき、「前原一誠ゆかりの地と斐川町の勝部本右衛門が守った松江城」を訪れました。

まず、大東町佐世地区にある「佐世城址」を訪れました。ここは、前原の母方の先祖戦国武将「佐世氏」の地であり、父方が当時の高瀬城主「米原綱寛」でありきわめて斐川町と縁がある関係にありました。

この後、佐世交流センターを訪問し、次に向かったのが松江工業高校でした。今年は維新150年ということであり、維新十傑の一人と称される「前原一誠」が揮毫した扁額を拝見し、額に書かれてある「修道館」の修道とは自主・自律の精神であると先生から説明を受けました。

午後は、国宝松江城に向かいました。まず、先生が築城当時は関ヶ原の戦いが終わり、まだ政情が不安定な時代の中で築かれた城であったため防御に特に工夫されていると説明されました。その特徴として外敵からの侵入を防ぐ石垣の工法、鉄砲で迎え討つための穴(狭間)や石落としがあちこちに巧みに配置されているとのことでした。

外での見学と先生のお話が終わり、私も国宝指定後初めて天守に入りました。平成27年に全国で5番目に指定されましたが、その決め手になったのが2枚の祈禱札と言われていますが、実はこれ以外に天守の建築方法に2つの特徴があるとのことでした。

まず、「通し柱」について、1階から天井まで1本で通す柱材が当時少なくなってきたなかで、まず1階から2階分を貫く通し柱を巧みに配置していること、もう一つが、上からの重みを直接下に受けないで、外側にずらしながら下へ伝えていく方法であり、この建築方法がその後全国に広まったそうです。

当日は素晴らしい天気にも恵まれ、「前原一誠」の自分の志を貫く素晴らしさ、松江城を築城した「堀尾吉晴」の巧みな城づくり、解体寸前だった城を守った「勝部本右衛門」に郷土の誇りとして敬意を表し、当日説明を頂いた穴道先生と、今回の歴史探訪を企画された莊原・出東コミセンの方々にもお礼を申し上げます。



松江城

街頭防犯カメラが設置

莊原コミュニティセンター西側交差点のバラの植栽の中に外路燈(出雲市設置)と防犯カメラ(JA共済連島根県本部寄贈)を設置していただきました。



安心
安全



香典返し 金一封
森脇和弘様(北灘自治会)
昌子 良様(瀬南自治会)
皆様からお寄せいただきましたお志は、
在原地区社会福祉協議会に活用させていただきます。
誠にありがとうございます。

ご寄付御礼